

JA松任青年部

YOUTH SITE



「グリーンセミナー2021を開催しました」

～農業理解促進部～

5月15日(土)、松任地域の放課後児童クラブ10箇所を対象に、グリーンセミナーを開催し、ミニトマトの苗、計45鉢をお届けしました。

例年では、集まった青年部盟友達と各クラブの子とも達が交流しながら、実際にミニトマト定植などの屋外学習を楽しむイベントでした。

新型コロナウイルスの影響もあり、今年度の開催は盟友が定植した鉢を各クラブへお届けし、子ども達はトマトの成長を観察して、自ら「育てて！食べて！学んで！」を行ってまいります。

当日はそれまでの悪天候を吹き飛ばすほどの快晴で、各地区より集まった22名の盟友が、それぞれの青年部活動経験を生かして「ああしたらいいんじゃない？こうしたらいいじゃない！」等と声や知恵を出し合い作業を行いました。

実際の作業は鉢の底に軽石を入れて、土を均等にならしていき、こぶし一つ分くらいの穴を掘り、ミニトマト「アイコ」の苗を入れて優しく土をかけ、支柱に沿ってナイロンテープを巻きました。

定植作業後には配達に向かい、子ども



達とは直接交流はできませんでしたが、地域の方や子ども達が喜んでくれるなら、今後活動に熱が入る」と委員長を中心に盟友達のマスクの下には笑顔があふれました。

今後、引き続き育ていくトマトは9月中旬頃に子ども達が描いた絵の展示をまいどさん市場にて予定していますので、ぜひご覧ください！

【剣崎なんば苗ポットへ】

～松南支部林中地区～

5月30日(日)、午前7時30分～なんばの育苗トレーから、育苗ポットへ移しかえる作業を行いました。

当日は天候も良く順調に作業を行うことができました。

約350の苗をポットへ移し、今後は成長を見て6月下旬に露地に植えたいと思います。



【トウモロコシとさつまいもの定植】

（松南支部山島地区）

5月9日（日）に、トウモロコシとさつまいもの定植を行いました。

本来なら、松南ベジスポフェスティバル、農とスポーツ体験の企画内容としての野菜の定植でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から子どもたちや地域の方の健康と安全を考慮してイベントが延期となりましたので、代わりに少人数の盟友のみで行いました。

当日は検温、マスクの着用、

手指の消毒などの感染対策を行いながら、盟友の子どもも数人参加してくれて、前日の雨でぬかるんだ畑に悪戦苦闘している子もいれば、「これなんの苗や?」「私わかる、トウモロコシやよ」と楽しんで参加されている様子も見られました。短い時間ではありましたが、子供たちにとっては良い経験につながったと思います。

松南ベジスポフェスティバルに申し込みをされた方々からは、開催延期を惜しむ声や次回の開催を望む声もいただいていますので、野菜の生育状況を山島青年部のインスタやフェイスブックに投稿するなどして情報を発信していくとともに、県内の感染状況などを見ながら、野菜の収穫を農体験として、松南ベジスポフェスティバルの開催について検討していきたいと考えています。



【横江町荘園祭】

（中央支部）

5月23日（日）、2018年より毎年恒例となった横江町荘園祭りに参加させて頂きました。

早目の梅雨入りのため天候が危ぶまれましたが、無事天気に恵まれ開催されました。

昨今のコロナ禍により最小限の人数で作業を行いました。実行委員の皆さんから指導を受け、慣れない手つきで田植えをおこない、農に触れ合う貴重な機会になりました。

最後に去年収穫された古代米を頂き、それをこども食堂に寄付させてもらい食農の輪を広げたいと思います。

秋の収穫時期には豊作を祈願し、積極的に地区事業に貢献していきます。



国史跡の「東大寺領横江荘遺跡」がある横江町の田圃で栽培された古代米(紫黒米)です。立荘1200年(818年)を記念したプロジェクトが2018年よりスタートしました。

【食べ方】

お米1合に古代米大さじ1杯を目安に炊飯
（お好みで調整してください）

制作：東大寺領横江荘園まつり実行委員会

